

四大文明

音更町立 中央中学校
1年B組
藤原 愛葉

エジプト文明

エジプト文明の おこりと発展

エジプトでは、毎年夏にナイル川がはんらんし、後に養分が残り土を肥沃にした。紀元前3000年ごろに統一王国ができ、神廟やピラミッドが造られた。ピラミッドは、石やレンガを

積み重ねてつくられた。エジプトの王は一人の王が一族の世襲で治り、神の化身としてあがめられた。王は神の化身としてあがめられた。王は神の化身としてあがめられた。

太陽神
エジプトの人々は、太陽を神としてあがめ、王は神の化身としてあがめられた。王は神の化身としてあがめられた。

発展



象形文字

ツタンカーメン
一九三二年イギリスの学者カーターがマスクをつけたミイラや彫像品から紀元前1300年頃の十八歳で亡くなったツタンカーメンの王の存在が分かった。

インダス文明

インダス川のほとりで、紀元前2500年ごろ整備された道路や水路を持つ都市を中心にインダス文明がうまわれた。その後、紀元前1500年ごろ中央アジアからアーリア人が

進出してカースト制度ができた。別の身分の間の結婚や食事はなげが禁じられ身分は子孫に受けつがれた。

モヘンジョダロ
モヘンジョダロという都市は、インダス文明の都市遺跡の一つで、都市の上と下を二層に分けて、排水溝が敷かれていた。二層の間にはアスファルトで防水加工がされている。

モヘンジョダロ
モヘンジョダロという都市は、インダス文明の都市遺跡の一つで、都市の上と下を二層に分けて、排水溝が敷かれていた。二層の間にはアスファルトで防水加工がされている。

モヘンジョダロ
モヘンジョダロという都市は、インダス文明の都市遺跡の一つで、都市の上と下を二層に分けて、排水溝が敷かれていた。二層の間にはアスファルトで防水加工がされている。

モヘンジョダロ
モヘンジョダロという都市は、インダス文明の都市遺跡の一つで、都市の上と下を二層に分けて、排水溝が敷かれていた。二層の間にはアスファルトで防水加工がされている。

モヘンジョダロ
モヘンジョダロという都市は、インダス文明の都市遺跡の一つで、都市の上と下を二層に分けて、排水溝が敷かれていた。二層の間にはアスファルトで防水加工がされている。

モヘンジョダロ
モヘンジョダロという都市は、インダス文明の都市遺跡の一つで、都市の上と下を二層に分けて、排水溝が敷かれていた。二層の間にはアスファルトで防水加工がされている。

モヘンジョダロ
モヘンジョダロという都市は、インダス文明の都市遺跡の一つで、都市の上と下を二層に分けて、排水溝が敷かれていた。二層の間にはアスファルトで防水加工がされている。

中国文明

中国では、二万年ほど前に黄河の中、下流域で粟なども、長江

の下流域で稲を栽培する農耕文化に始まり、紀元前八世紀に殷が生まれ、紀元前六世紀ごろの春秋戦国時代になった。

春秋戦国時代
春秋戦国時代は、諸侯国が争い、戦乱が続き、周の支配力は次第に弱くなっていった。

メソポタミア文明

チグリス川とユーフラテス川には、サマタメソポタミアには、曲がかな土地が広がり、紀元前3000年ごろに城壁と神殿を持つ都市国家がいくつも生まれ、また、さび形文字が發明され、月の満ち欠けにもとづく大陰暦が、時間を六十進法で測ること、

一週間を七日とすること、エジプトやメソポタミアをふくむオリエンタル地域では、後にアルファベットが發明され、鉄器が広く使われるようになった。さび形文字は、言語を表記した文字として、現在確認される最古の文字。

カール
カールは、古代メソポタミアの古代都市。ウルは二十世紀に本格的な発掘が始まった。神殿には守護神(月の神)がまつられた。王は神にかかり地上を治める者とされた。ウルはユーフラテス川の南岸にある。

編年表
私に四大文明を調べた理由は、昔のことを知りたくて調べたので、私がインターネットを使うと、教科書に載っていないことを知ることができたので、良かったです。